

チャレンジ通信

第百二十六代 埼玉県議会議長
埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき 慎一

神無月に思う

三月二十五日に、第百二十六代埼玉県議会議長に就任させていただいてから七か月が経過しました。今までの立場では経験出来なかつた事や、県議会の代表として「事」に臨む中で様々な得難い経験をさせていただいていることに改めて心から感謝いたします。



大野知事とタッグを組んで
県政前進に努めてまいります



10/12 防犯のまちづくり
街頭キャンペーン参加
武内副議長、中屋敷議長

私自身は憲政史上最長の在任期間を勤め上げられた元総理に相応しい葬儀だったように感じました。ただ、献花に至るまでの五時間十分はまるで修行のようでした。また、国体の総合開会式には、二〇〇四年に本県で開催された「彩の国まごころ国体」以来の参加でしたが、その時との大きな違いは、やはりコロナ対策で、開催前二週間の検温、一週間前のPCR検査、当日早朝キットを用いて自身で抗原検査、という念の入れよう。当然とはいえ「ねばならない事」が増えていることへの負担感は否めない状況でした。



県議会9月定例会報告 最大規模の補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化へ

補正予算【第4号】 1,765億1,218万9千円

県議会9月定例会は9月22日に開会し、原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上等を議決し10月14日に閉会しました。

補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、

生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。

私たち自民党県議団はこれからも一丸となって、県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。

県議会議長日記

~Photoレポート~

◎地方自治委員会(全国都道府県議会議長会)
令和4年度委員長に就任しました。



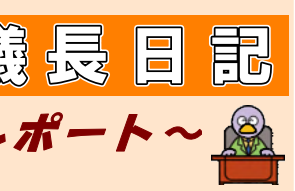
7/27 第172回全国都道府県議会議長会定期総会出席



7/28 地方自治委員会
令和5年度政府予算編成並びに
施策への要請活動(若宮デジタル
ル田園都市国家構想担当大臣)



8/1 第104回全国高等学校
野球選手権埼玉大会優勝校
聖望学園(飯能市)表敬訪問



8/4 第18回日本スカウト
ジャンボリー開会式出席



8/5 夏休み親子参加イベント
「議事堂見学会と投票体験」
議長室も見学されました



8/15 第65回オールスター
競輪(G1)表彰式出席
(議長賞プレゼンター)



8/19 ベンチャースカウト
鴻巣2団・上尾4団公民章取
得に向けての議長訪問



8/20 第33回埼玉県消防
操法大会出席



8/24 埼玉応援の集い
「I Love Saitama! from Tokyo
2022!!」出席(乾杯の発声)



8/26 第46回文部科学大臣杯
全国高校囲碁選手権大会の女
子個人戦優勝者 長野優希さん
表敬訪問(開智高等学校2年)



8/28 第43回九都県市合同防
災訓練参加(北本総合公園)



8/31 令和4年度彩の国
功労賞表彰式



9/5 第48回埼玉県民生委員・
児童委員大会出席



9/11 埼玉パナソニックワイルド
ナイツ優勝報告セレモニー出席



9/16 治水の日「慰霊・継承式典」
出席(加須市カスリーン公園)



9/17 拉致問題を考える
埼玉県民の集い出席



9/20 第35回世界バトントワー
リング選手権大会優勝者
高橋歩暖選手表敬訪問
(日本体育大学在学中)



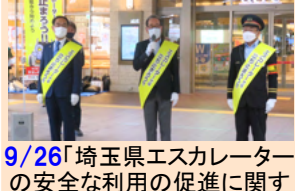
9/21 埼玉職業能力開発促進
センター「ポリテクセンター埼
玉」視察(さいたま市緑区)



9/26 「埼玉県エスカレーター」
の安全な利用の促進に関す
る条例施行1周年に伴う街
頭キャンペーン(浦和駅)



9/28 埼玉県遺族連合会
創立75周年記念式典出席



10/1 第77回国民体育大会
「いちご一会とちぎ国体」
埼玉県選手団現地激励会
及び総合開会式参観



10/3 埼玉県共同募金会
街頭募金活動(浦和駅)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密『密閉』『密集』『密接』」を避けましょう!

原油価格・物価高騰等の影響を受ける

事業者への緊急支援 74億1,872万4千円

①福祉施設等の運営継続に対する支援 (21億8,972万8千円)

高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ、私立学校、土地改良区等に対し補助する。

②トラック運送事業者の経営改善に対する支援 (35億3,534万7千円)

運送事業者に対し補助するとともに、運送費への円滑な価格転嫁を促進する。

③農業者の経営継続に対する支援 (10億8,859万4千円)

価格転嫁が困難な酪農家や採卵鶏農家等に対し補助するとともに、自給飼料の生産性向上を図るため飼料用機械の導入経費等を補助する。

④観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 (6億505万5千円)

本県を目的地とする宿泊旅行に対して、最大3,000円分の地域観光クーポン券を配布する。



原油価格・物価高騰等の影響を受ける

生活困窮者等への緊急支援 14億1,017万1千円

①生活困窮者の相談機会の拡充 (2,497万円)

相談支援員、弁護士等の専門家による相談や生活必需品の配布などを行う「生活困りごと相談会」を県内4つのエリアで開催する。

②自殺を思い悩む県民の相談体制の拡充 (2,404万6千円)

SNS相談「こころのサポート@埼玉」の体制を強化するとともに、身近な人の悩みに気づき支えることのできる「ゲートキーパー」への理解を深めるため、県民や事業者向けの啓発・研修動画を作成する。

③ひきこもり支援の推進 (1,016万4千円)

ひきこもり支援団体の活動内容を周知する動画を作成し、SNS等で発信する。

④生活福祉資金特例貸付の借受人の相談体制の拡充 (13億5,099万1千円)

県社会福祉協議会におけるコールセンターの拡充や、市町村社会福祉協議会における弁護士などの専門家による相談体制の強化に要する経費を補助する。



原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営

体質・生活様式への転換を促す支援 15億83万5千円

①グリーン分野への進出に向けた中小企業の事業再構築等の支援 (2億1,357万円)

②キャリアチェンジの促進 (1億4,684万3千円)

③海外での販路開拓に向けた支援 (1,000万円)

④化学肥料の使用量低減に向けた支援 (2億5,057万7千円)

⑤県産木材供給体制の構築 (4,900万円)

⑥民間企業や地域等の連携による観光振興の取組支援 (5,084万円)

⑦環境負荷の少ない自動車の普及推進 (7億5千円)

⑧県営住宅や県営公園における省エネ・再エネの推進 (8,000万円)



新型コロナウイルス感染症の拡大防止

1,619億6,282万円

①ワクチン接種の推進 (75億230万8千円)

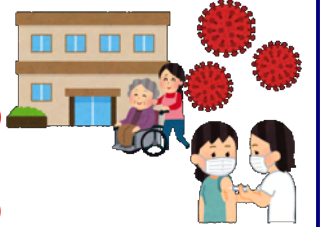
②医療提供体制の確保・強化 (1,480億4,304万8千円)

③感染不安を抱える妊婦への支援 (9,268万9千円)

④福祉施設における感染拡大防止対策

●クラスター発生防止の推進 (35億9,040万円)

●サービス提供体制の継続確保への支援 (27億3,437万5千円)



↓ 令和4年9月22日 朝日新聞に掲載された記事より

熊谷の10歳死亡ひき逃げ「解決を」 遺族の思い 県議会動かす



亡くなった 小関孝徳さん

熊谷市で13年前、10歳の男児が車にはねられ、17となる交通事故が起きた。車は逃走し、警察が捜査を続けているが、未解決のまま。危険運転致死罪の公訴時効まで7年。遺族は「逃げ得は許さない」と様々な活動を続けており、事情を重くみた県議会が今年3月、死亡ひき逃げの時効撤廃を求める意見書を全会一致で採択した。遺族は「諦めず、やれることは全てやりたい」と話す。

時効撤廃の意見書で後押し 熊谷市で13年前、10歳の男児が車にはねられ、17となる交通事故が起きた。車は逃走し、警察が捜査を続けているが、未解決のまま。危険運転致死罪の公訴時効まで7年。遺族は「逃げ得は許さない」と様々な活動を続けており、事情を重くみた県議会が今年3月、死亡ひき逃げの時効撤廃を求める意見書を全会一致で採択した。遺族は「諦めず、やれることは全てやりたい」と話す。

熊谷市で13年前、10歳の男児が車にはねられ、17となる交通事故が起きた。車は逃走し、警察が捜査を続けているが、未解決のまま。危険運転致死罪の公訴時効まで7年。遺族は「逃げ得は許さない」と様々な活動を続けており、事情を重くみた県議会が今年3月、死亡ひき逃げの時効撤廃を求める意見書を全会一致で採択した。遺族は「諦めず、やれることは全てやりたい」と話す。

なかやしきの思い!

小関孝徳君のお母様と野中厚衆議院議員を介して知り合いました。いまだ未解決の事件に対し「解決」に向けて懸命に努力を重ねているお母さまとの意見交換の中で、こうした事案は「何時何処でも起こりうる、何とかしなくては!」との思いから意見書の提出に至りました。今は、全国議長会の議題と出来るよう取り組んでいます。

埼玉県立鴻巣高等学校 バスケットボール部

第54回「シラコバト賞」受賞

鴻巣駅ご利用の皆さんは目にされたことがあると思いますが、鴻巣高校男女バスケットボール部の生徒たちが、平成22年以来鴻巣駅や学校周辺で取り組んでいる清掃活動が、「住みよいふるさとをつくる活動」として、シラコバト賞を受賞することになりました。私が市スポーツ協会会長として推薦させて頂きました。皆さん受賞おめでとう!